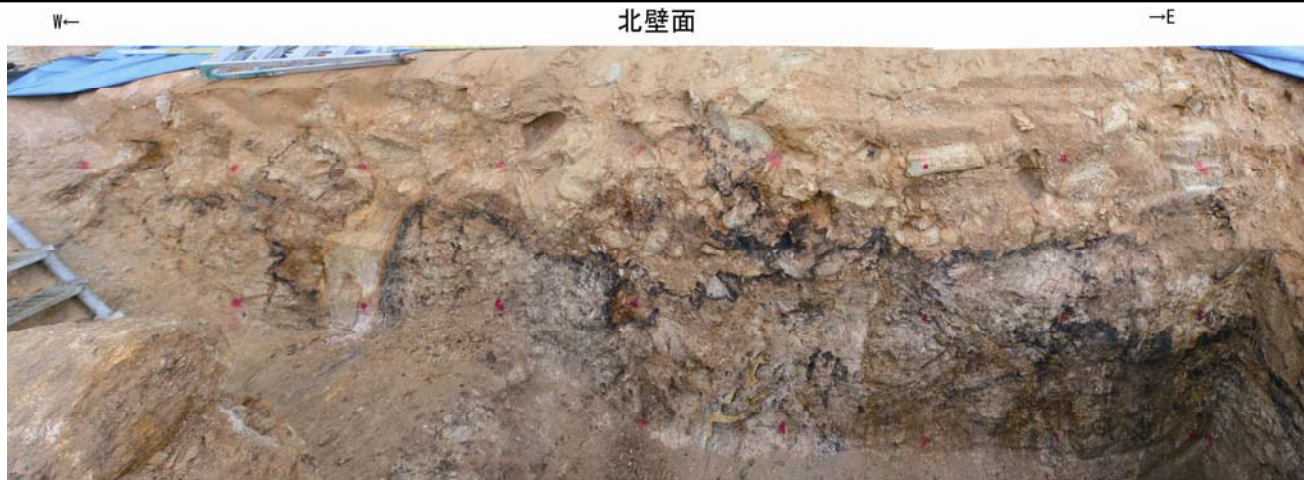
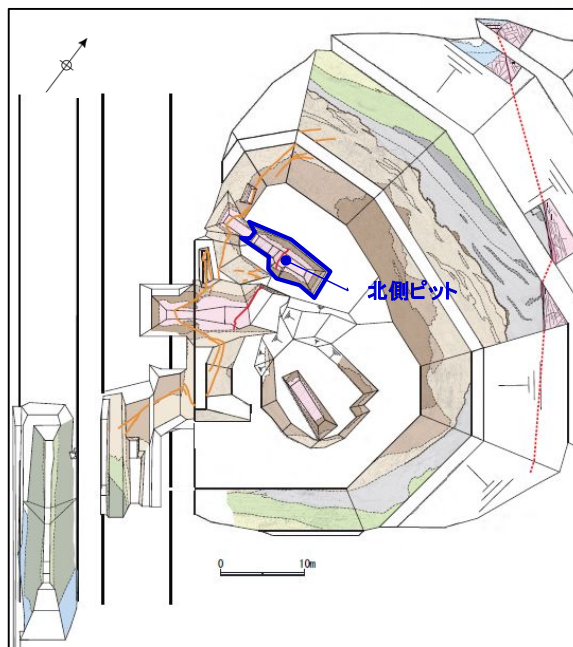
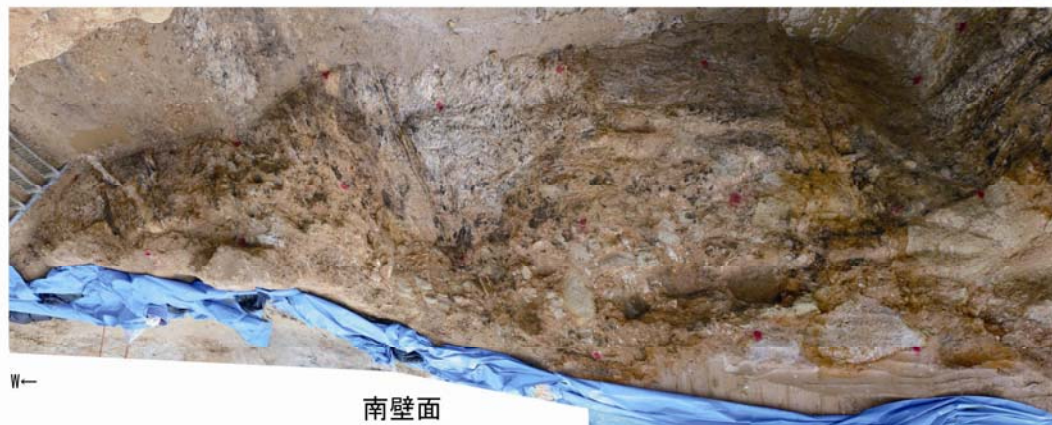


D-1トレンチ北側ピット (G断層) 写真

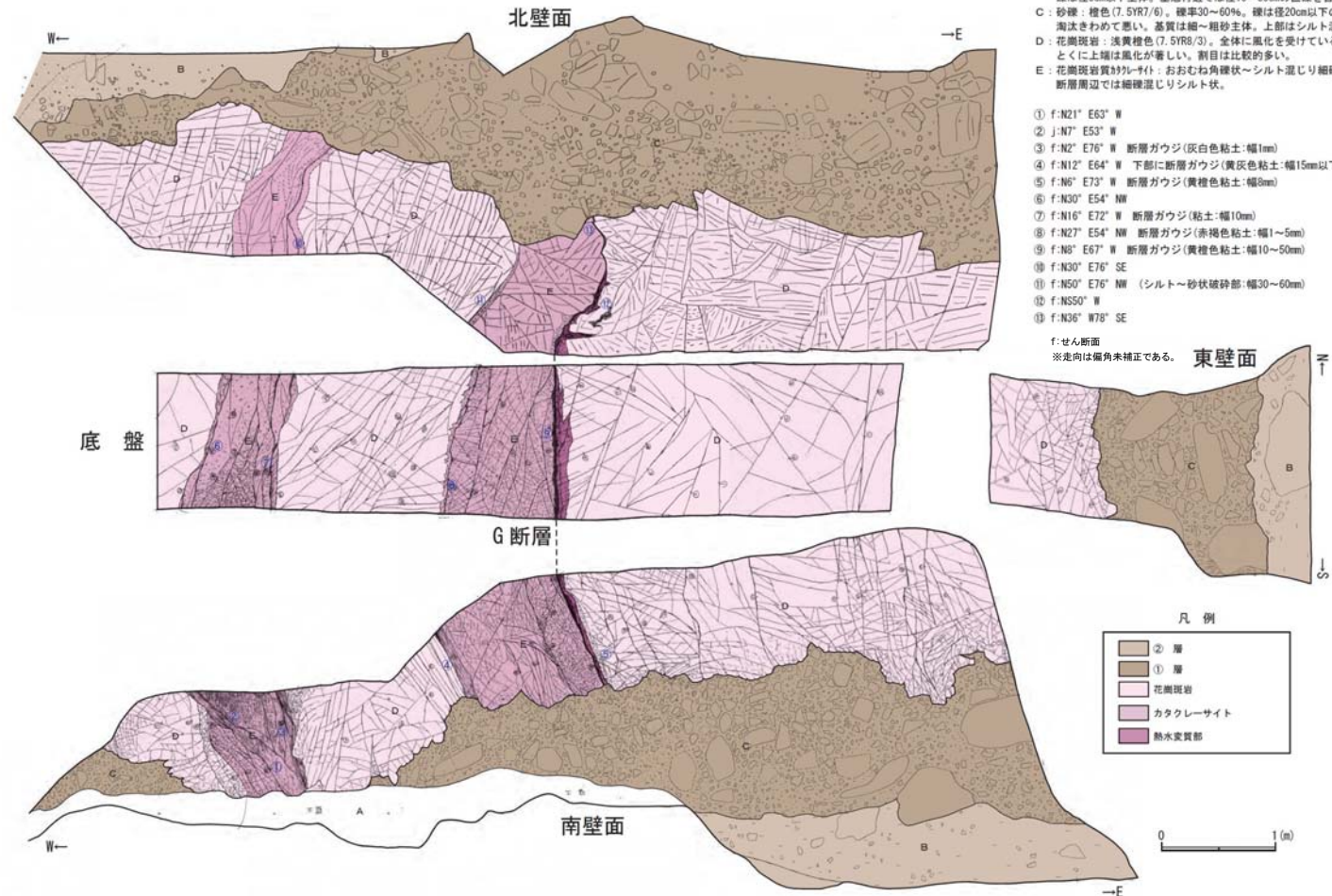
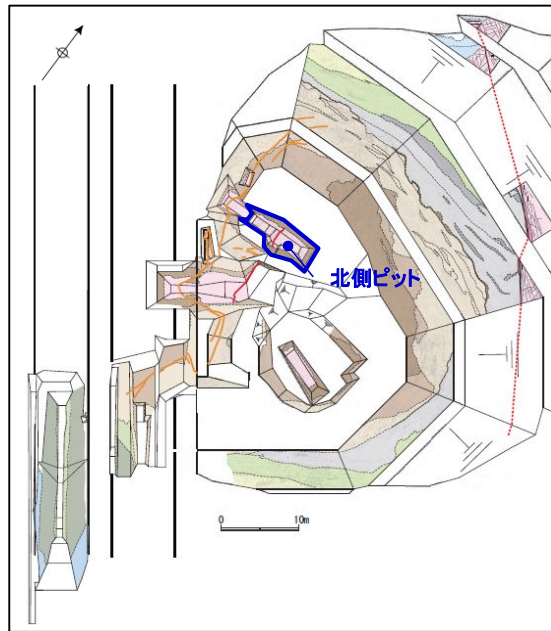


底盤



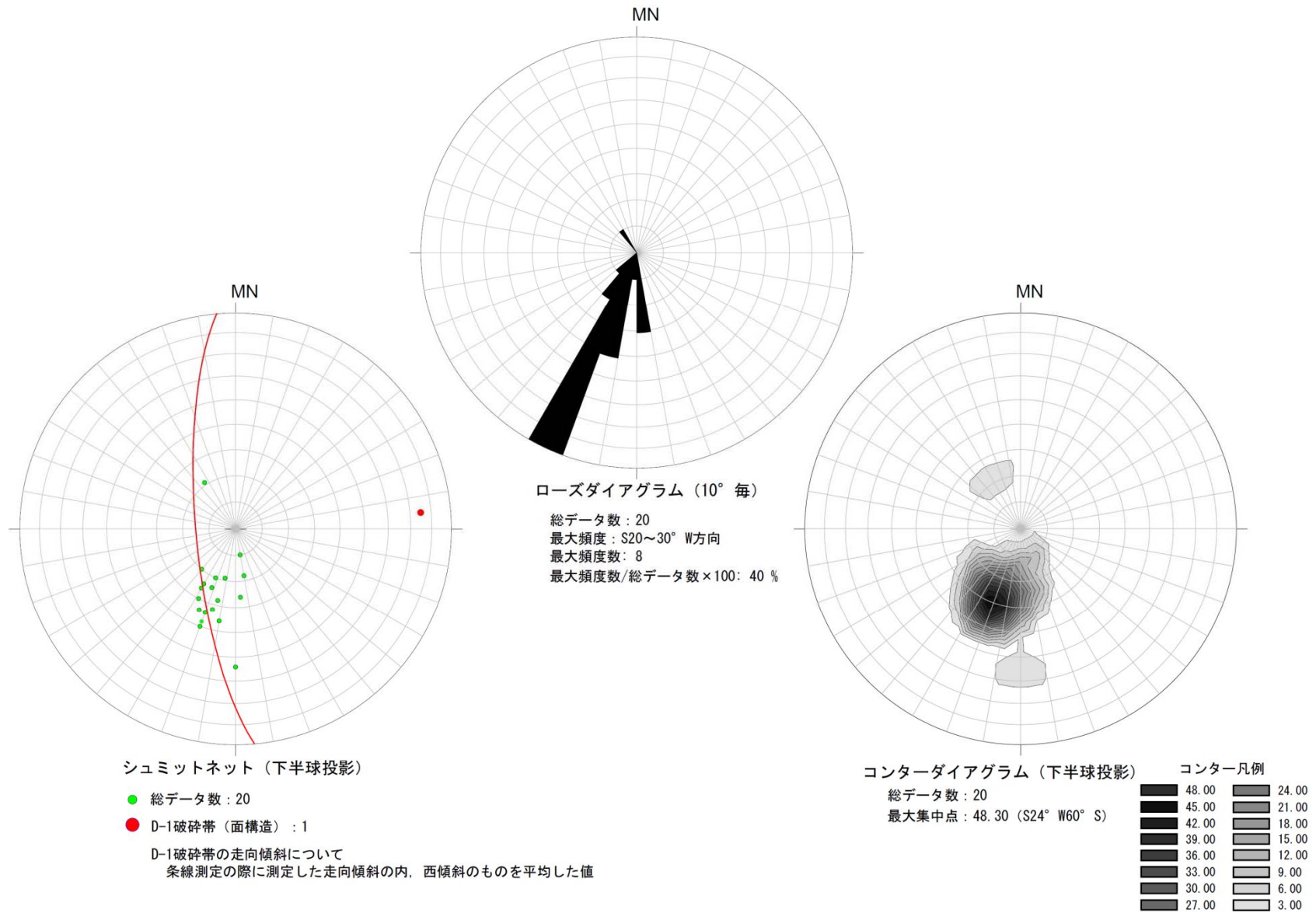
D-1トレンチ北側ピット (G断層) スケッチ

130

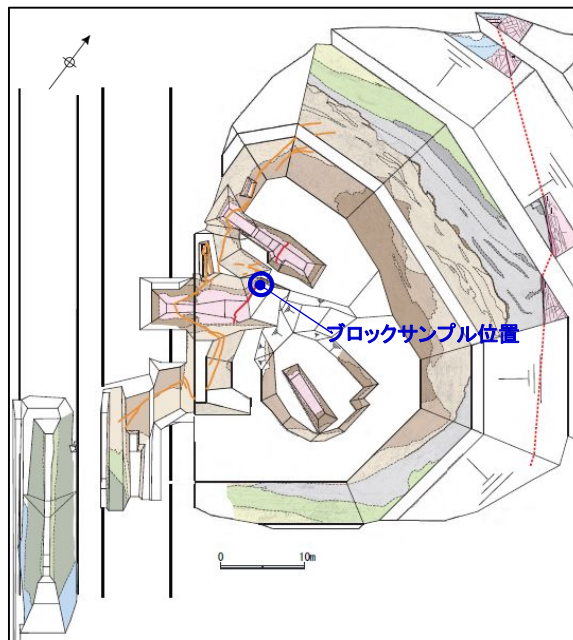


G断層は、花崗斑岩質カタクレーサイトと黄褐色、灰白色、淡赤褐色、暗褐色の縞状構造を呈する断層ガウジからなり、N-S方向で高角度西傾斜である。

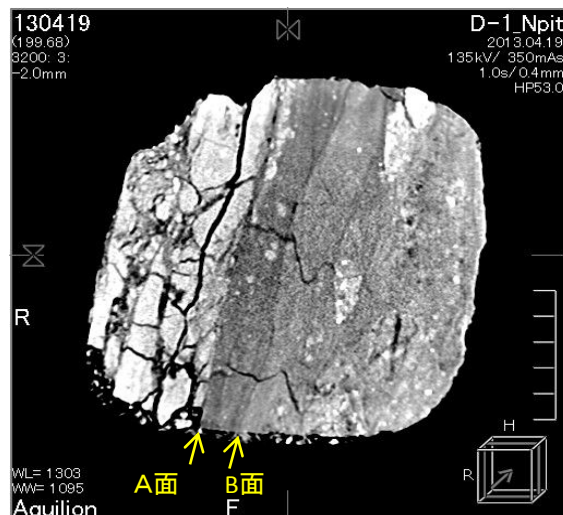
G断層はD-1トレンチ北側ピットでは、①層に変位・変形を与えていない。



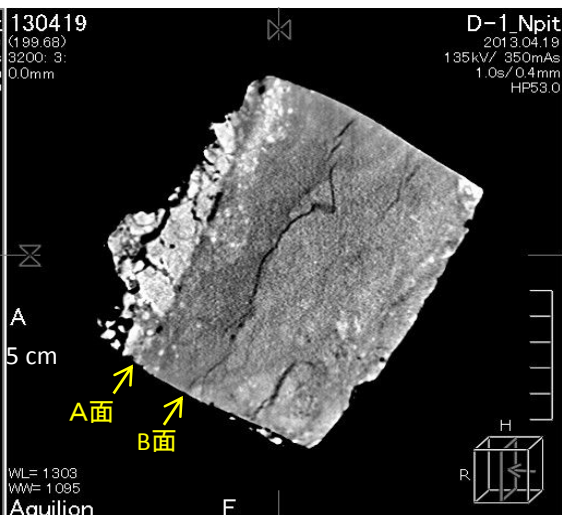
・G断層の最新活動面における条線について、S20° ~30° Wを示す縦ずれ成分が卓越。
 ・高~中角度を示すプランジが多い。



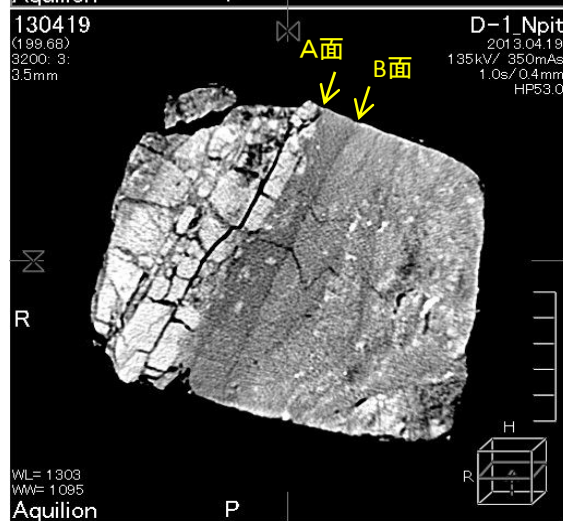
水平スライス断面



鉛直断面



133



他の変形構造を切る連続性の良い断層面が2条観察された。

鉛直断面



D-1トレンチ北側ピットでG断層のブロックサンプルを観察した結果、他の変形構造を切る連続性の良い断層面が2条観察された。

D-1トレンチ 北側ピット (G断層) ブロックサンプル (A面及びB面上の条線)

N ←



0 1mm

西側から東方を見る。西傾斜の断層面(A面)の下盤側表面の形態。高角度の条線が認められる。

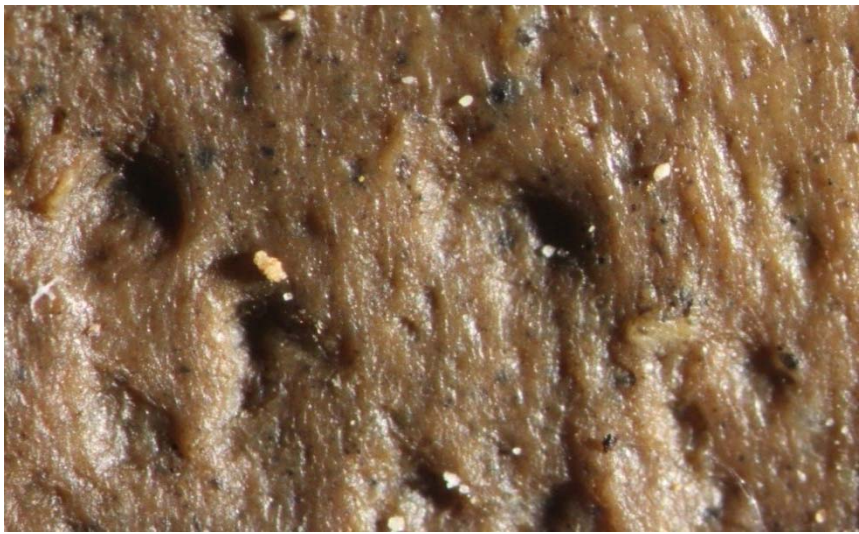
上 → 西



0 5cm

134

N ←



0 1mm

西側から東方を見る。西傾斜の断層面(A面)の下盤側表面の形態。高角度の条線,微小な窪みが認められる。

→ N



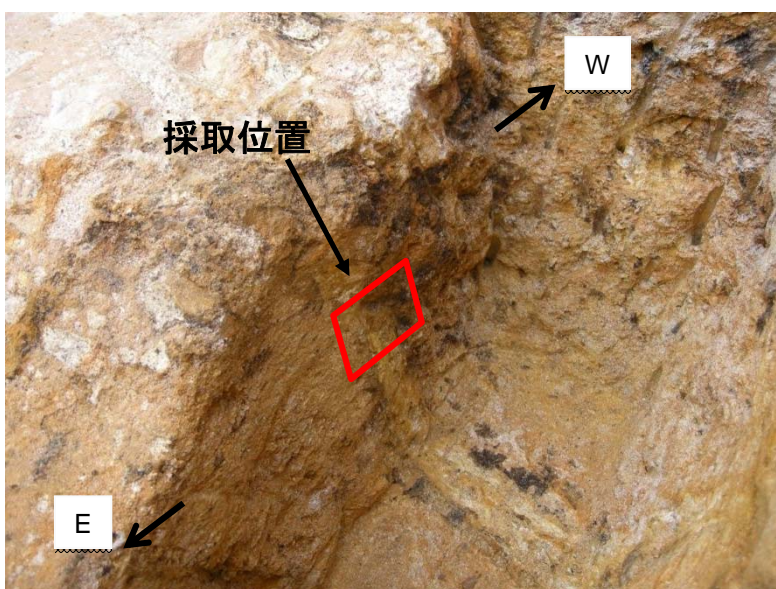
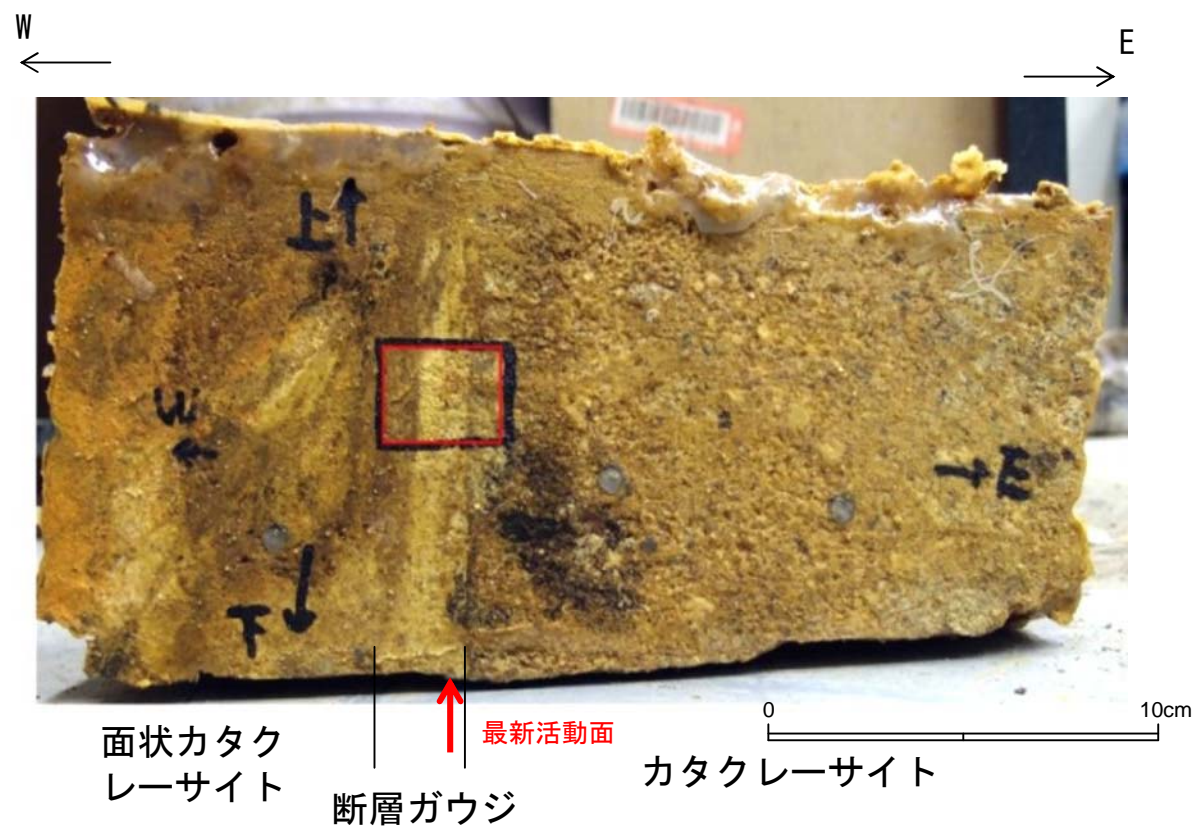
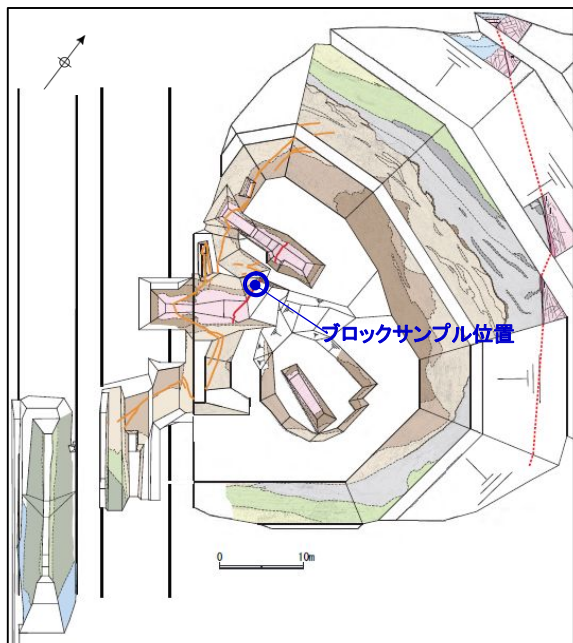
0 1mm

東側から西方を見る。西傾斜の断層面(B面)の上盤側表面の形態。高角度の条線,微小な窪みが認められる。

A面上の条線観察

B面上の条線観察

135

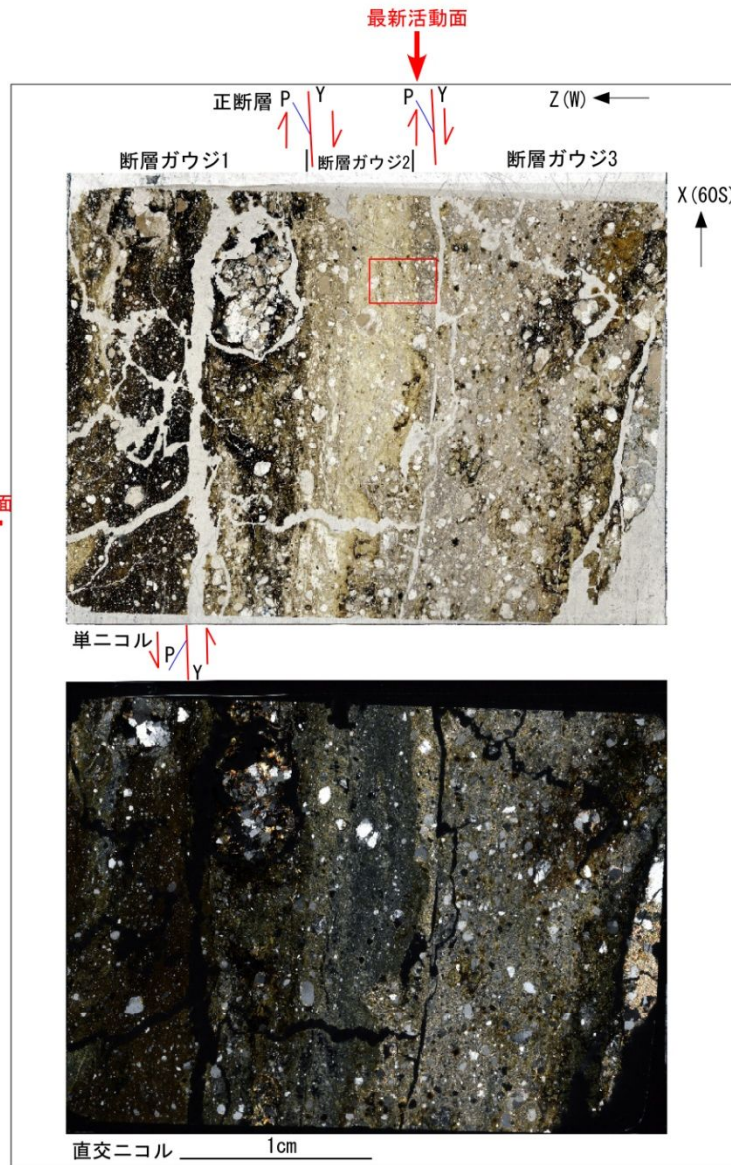
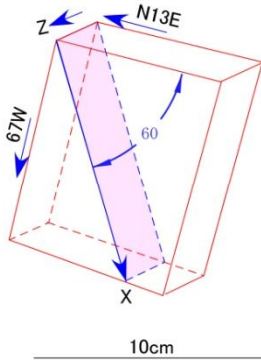
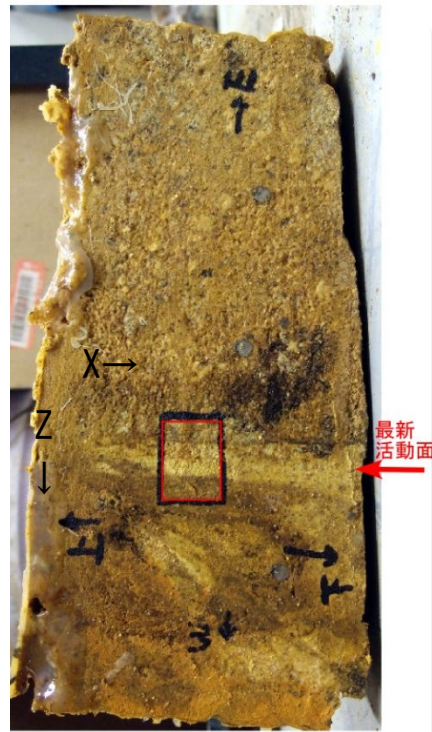


上盤側(西側)から、面状カタクレーサイト、断層ガウジ、カタクレーサイトからなる。
断層ガウジは全体を直線的に切っており、その中でも下盤側が上下方向に連続している

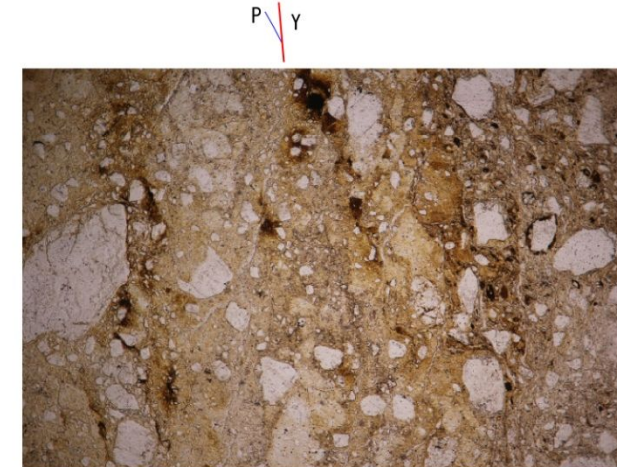
最新活動面は、研磨片において、全体を切っていて最も軟質な面の中で最も直線的な面としている。

D-1 トレンチ北側ピット (G断層) 薄片試料観察 (上下成分)

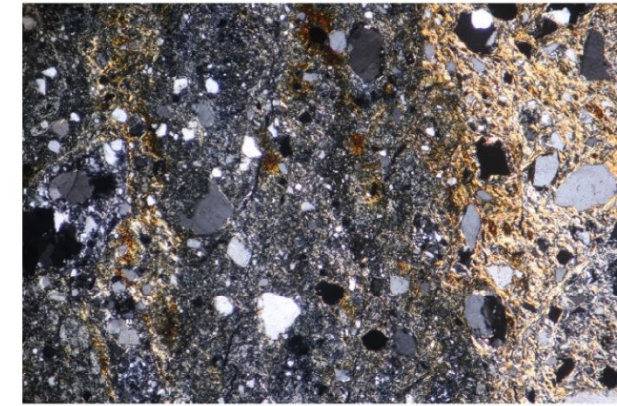
136



赤枠内の拡大



単ニコル

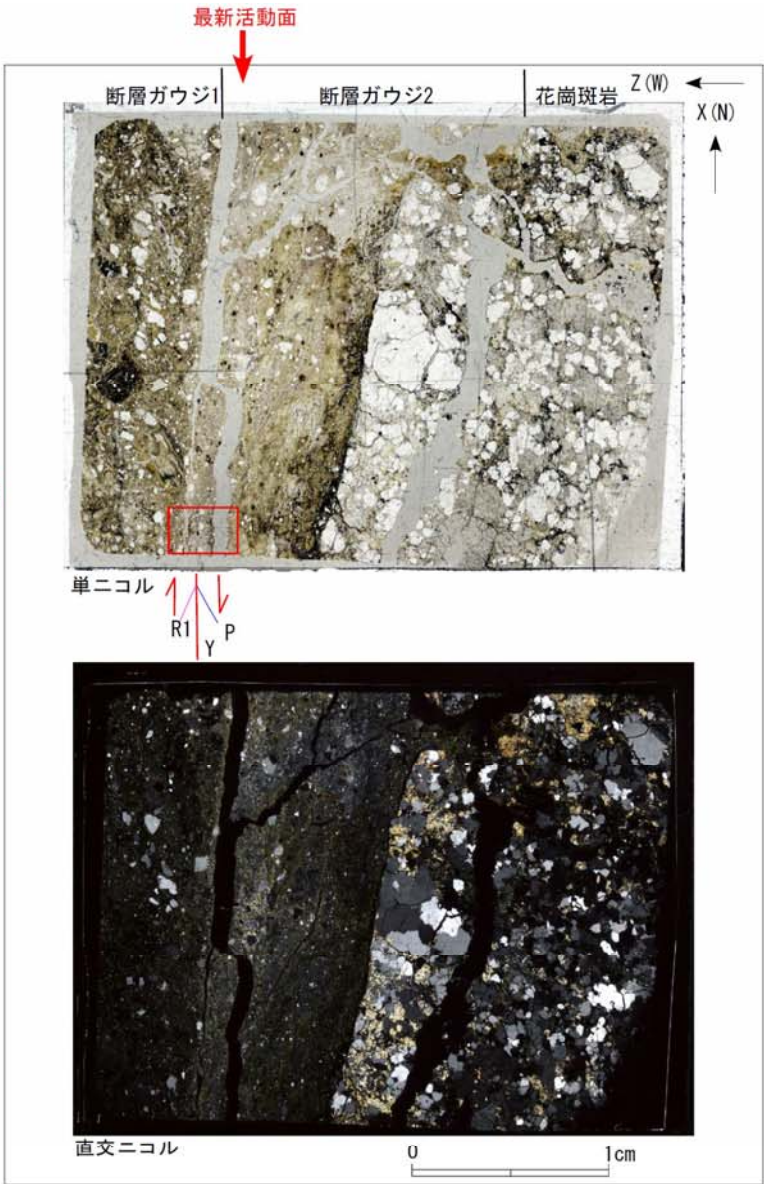


直交ニコル

- 断層ガウジ1
褐色を呈する細粒の基質及び径0.01mm~6mmの垂角~亜円礫状の石英、長石、カタクレーサイトのフラグメントからなる。基質には粘土鉱物を含む。不明瞭であるがP面から逆断層の変位センスが判読される。
- 断層ガウジ2 (最新活動面)
褐灰色を呈する細粒の基質及び径0.01mm~3mmの垂角~垂角礫状の石英、長石、カタクレーサイトのフラグメントからなる。基質には粘土鉱物が多い。不明瞭であるがP面から正断層の変位センスが判読される。フラグメントは円磨されたものが多い。
- 断層ガウジ3
褐灰色を呈する細粒の基質及び径0.01mm~0.3mmの垂角~亜円礫状の石英、長石、カタクレーサイトのフラグメントからなる。基質には粘土鉱物が多い。不明瞭であるがP面から正断層の変位センスが判読される。

D-1 トレンチ北側ピット (G断層) 薄片試料観察 (水平成分)

137



0 10cm

0 1cm

0 1mm

- 断層ガウジ1 (最新活動面)
褐灰色を呈する細粒の基質及び径0.1mm~3mmの垂円~垂円礫状の石英、長石、カタクレーサイトのフラグメントからなる。基質には粘土鉱物を多く含む。R1面及びP面から右ずれの変位センスが判読される。
- 断層ガウジ2
褐灰色を呈する細粒の基質及び径0.1mm~2mmの垂円~垂角礫状の石英、長石、カタクレーサイトのフラグメントからなる。断層ガウジ1よりフラグメントの率が低い。基質には粘土鉱物を多く含む。R1面及びP面から右ずれの変位センスが判読される。
- 花崗斑岩
径0.1mm~2mmの花崗斑岩、石英、長石のフラグメントからなる。